

全国の情報は国立感染症研究所感染症疫学センターホームページにてご覧ください。 <http://www.nih.go.jp/niid/ja/from-idsc.html>

定点把握感染症(指定された医療機関から報告を求める感染症です)

インフルエンザ

定点あたり患者数は今週 **2.92人**(先週 4.05人) と減少しました。地域的には、定点あたり患者数が、加古川保健所管内で 6.14人、朝来保健所管内で 5.67人、残りの 15 保健所管内で 5人未満となっています。

直近の 5 週間に県内の定点医療機関から報告された患者 8,684 人の年齢分布では、5~9 歳 28%、0~4 歳 23%、10~14 歳 17%の順で、15 歳未満が全体の 68%を占めています。

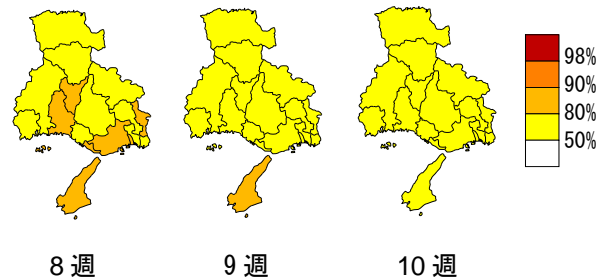
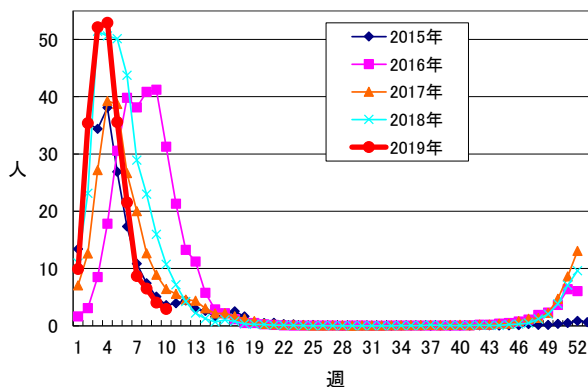
インフルエンザの入院患者を対象とするサーベイランスでは、今週 12人(先週 17人)の報告がありました。今シーズンの累計は 1,022 人となり、うち 186 人が集中治療室、人工呼吸器、頭部 CT 検査等を利用しています。患者の年齢分布は 1~9 歳 26%、80 歳以上 25%、70 歳代 18%の順で多くなっています。また、インフルエンザウイルスを原因とする急性脳炎の患者が、昨年末から県内で 15 人報告されています。

臨時休業の施設別発生状況では、今週 28 件(先週 42 件)の報告がありました。内訳は学年閉鎖 4 件、学級閉鎖 24 件、施設別では、幼稚園 4 件、小学校 19 件、中学校 3 件、高等学校 1 件、その他 1 件で、姫路市、明石市、龍野及び福崎保健所管内を除く各地域から報告されています。

当研究所では今シーズン、県内の患者から 190 件のインフルエンザウイルスを検出しており、その内訳は **AH1pdm09** 77 件、**AH3 亜型(A 香港型)** 111 件、**B 型(Victoria 系統)** 2 件です。2019 年第 2 週までは 91 件中 55 件(60%)が **AH1pdm09**、第 3 週以降は 99 件中 76 件(77%)が **AH3 亜型** となっています。

インフルエンザの予防には、ワクチン接種、手洗いが有効です。また、感染が疑われる場合は、マスクの着用、咳エチケット、早めの受診が重要です。

インフルエンザの定点あたり患者発生状況(県内)



(1 週間あたりの患者数が、各地域の過去 5 年間のデータの下からどれぐらいになるかを、50、80、90、98 パーセンタイル値を基準に、色分けして表示しています。)

定点あたり患者数の上位 10 位の疾病

	疾病名	定点あたり患者数		増減		疾病名	定点あたり患者数		増減
		今週	先週				今週	先週	
1 位	感染性胃腸炎	7.78	7.74	+0.04	6 位	伝染性紅斑	0.47	0.50	-0.03
2 位	インフルエンザ	2.92	4.05	-1.13	7 位	流行性角結膜炎	0.43	0.40	+0.03
3 位	A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.69	1.45	+0.24	8 位	水痘	0.41	0.22	+0.19
4 位	RS ウイルス感染症	0.67	0.91	-0.24	9 位	突発性発しん	0.26	0.29	-0.03
5 位	咽頭結膜熱	0.51	0.50	+0.01	10 位	手足口病	0.15	0.12	+0.03

全数把握感染症（すべての医療機関から報告を求める感染症です）

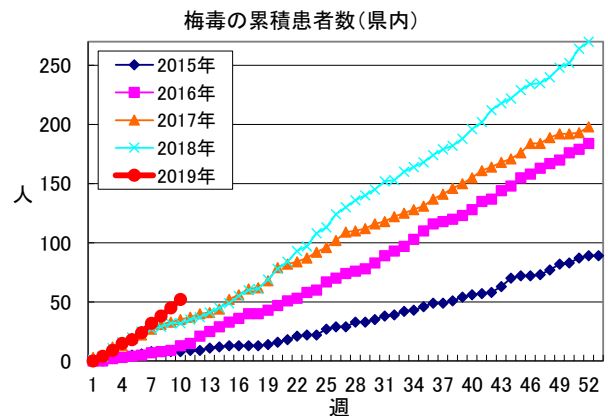
梅毒

今週 7 人の報告があり、今年の累積患者数は 52 人となり、昨年を上回る勢いで増加しています。

性別では、男性 29 人、女性 23 人、年齢階級別では、男性は 40 歳代 10 人、30 歳代 8 人、女性は 20 歳代 7 人、10 歳代 5 人の順で多くなっています。

病型別では、早期顕症梅毒のⅠ期が 23 人、Ⅱ期が 14 人、無症状病原体保有者が 15 人となっています。

感染原因は、性的接触 45 人（異性間 39 人、不明 6 人）、原因不明 7 人で、推定感染地域は国内が 46 人、不明が 6 人でした。また、性風俗産業の従事歴有が 7 人から、利用歴有が 16 人から報告されています。

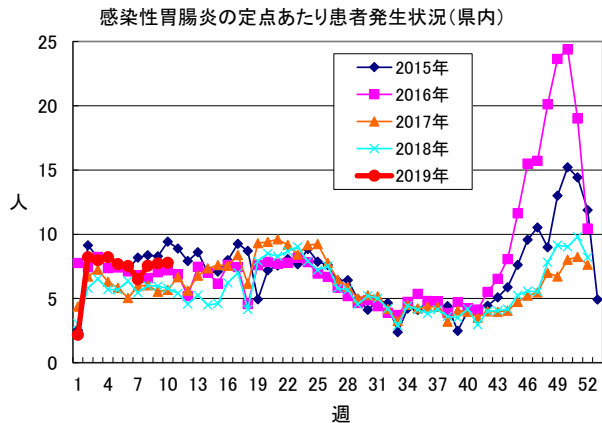


1 類感染症	報告はありません。
2 類感染症	結核 13人 (尼崎市 2人、西宮市 2人、伊丹保健所管内 1人、宝塚保健所管内 1人、加古川保健所管内 1人、加東保健所管内 2人、龍野保健所管内 1人、豊岡保健所管内 1人、丹波保健所管内 1人、洲本保健所管内 1人)
3 類感染症	報告はありません。
4 類感染症	報告はありません。
5 類感染症	<p>アメーバ赤痢 1人 (神戸市；腸管アメーバ症；女性 10 歳代；感染地域：カンボディア；感染経路：経口感染)</p> <p>カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 1人 (宝塚保健所管内；女性 80 歳代；<i>Enterobacter cloacae</i>；感染地域：兵庫県；感染経路：内因性感染)</p> <p>侵襲性インフルエンザ菌感染症 1人 (神戸市；女性 60 歳代；感染地域：兵庫県；感染経路：不明；ワクチン接種歴：無)</p> <p>侵襲性肺炎球菌感染症 5人 (①神戸市；男性 70 歳代；感染地域：兵庫県；感染経路：不明；ワクチン接種歴：1 回有、②神戸市；男性 80 歳代；感染地域：国内；感染経路：不明；ワクチン接種歴：無、③尼崎市；女性 60 歳代；感染地域：兵庫県；感染経路：飛沫・飛沫核感染；ワクチン接種歴：無、④西宮市；男性 50 歳代；感染地域：不明；感染経路：内因性感染；ワクチン接種歴：無、⑤加古川保健所管内；女性 0 歳；感染地域：兵庫県；感染経路：飛沫・飛沫核感染、接触感染；ワクチン接種歴：3 回有)</p> <p>梅毒 7人 (①神戸市；早期顕症梅毒Ⅰ期；男性 30 歳代；感染地域：兵庫県；感染経路：性的接触、②神戸市；無症状病原体保有者；男性 30 歳代；感染地域：不明；感染経路：不明、③尼崎市；早期顕症梅毒Ⅰ期；男性 20 歳代；感染地域：兵庫県；感染経路：異性間性的接触、④姫路市；無症状病原体保有者；女性 70 歳代；感染地域：兵庫県；感染経路：不明、⑤姫路市；早期顕症梅毒Ⅰ期；男性 20 歳代；感染地域：兵庫県；感染経路：性的接触、⑥加東保健所管内；早期顕症梅毒Ⅱ期；女性 40 歳代；感染地域：兵庫県；感染経路：異性間性的接触、⑦加東保健所管内；早期顕症梅毒Ⅰ期；男性 30 歳代；感染地域：兵庫県；感染経路：異性間性的接触)</p> <p>播種性クリプトコックス症 1人 (加古川保健所管内；男性 30 歳代；感染地域：兵庫県；感染経路：不明)</p> <p>百日咳 15人 (保健所：神戸市 4人、尼崎市 1人、姫路市 1人、西宮市 1人、芦屋保健所管内 1人、伊丹保健所管内 3人、加古川保健所管内 4人；性別：男性 6人、女性 9人；年齢群：0 歳 1人 (ワクチン接種歴：1 回有)、3 歳 1人 (ワクチン接種歴：4 回有)、5~9 歳 4人 (ワクチン接種歴：4 回有)、10~14 歳 5人 (ワクチン接種歴：4 回有)、30 歳代 1人 (ワクチン接種歴：4 回有)、40 歳代 3人 (ワクチン接種歴：不明) (累積報告数 126人、うち病原遺伝子検出 71人)</p> <p>風しん 1人 (赤穂保健所管内；検査診断例；男性 50 歳代；感染地域：兵庫県；感染経路：飛沫感染；ワクチン接種歴：不明)</p>
2019 年第 9 週までに診断されたものの報告遅れ	<p>結核 1人</p> <p>腸管出血性大腸菌感染症 1人</p> <p>後天性免疫不全症候群 1人</p> <p>梅毒 3人</p> <p>百日咳 1人</p>

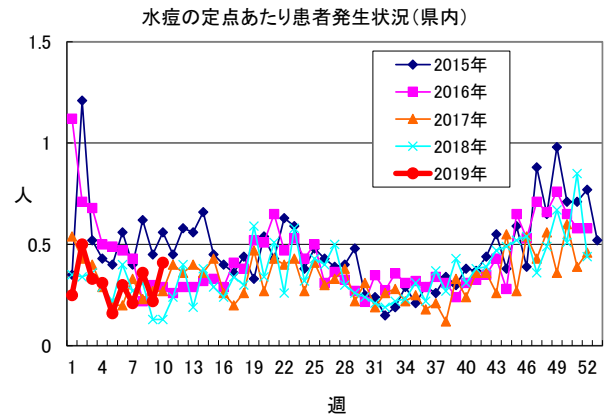
検査情報（兵庫県立健康科学研究所）

風しん患者 1 人（男性 50 歳代，血液，尿 2/28 採取）から、風しんウイルス（遺伝子型 **1E**）を検出しました。

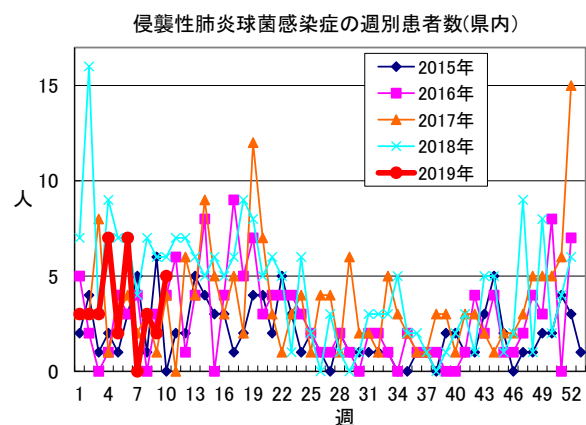
目で見える動向（県内）



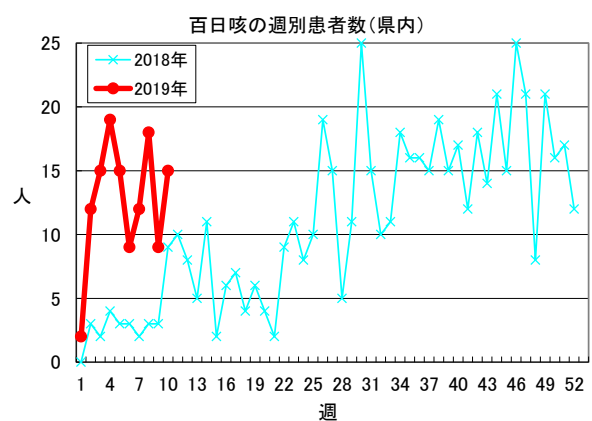
施設・学校における感染症集団発生状況では、今週 1 件（先週 1 件）の集団発生が報告されています。



明石市、芦屋及び加東保健所管内で、定点あたり患者数が注意報レベル基準値である 1 人以上となっています。



今週 5 人の報告があり、今年の累積患者数は 35 人となりました。



今週 15 人の報告があり、今年の累積患者数は 126 人となりました。

この週報は兵庫県立健康科学研究所ホームページ <http://www.hyogo-iphes.jp/> にも掲載しています。

また、<http://www.nih.go.jp/niid/ja/from-idsc.html> から国立感染症研究所感染症疫学センターの週報（IDWR）がダウンロードできます。